

注：修正液、砂消し等不可。訂正する場合は書き直しが望ましいですが、難しい場合は二重線で訂正してください。

様式第1号その1（第7条関係）

住宅・建築物等耐震化促進事業費補助金交付申請書

日付は受付時に記入してください⇒ 年 月 日

(宛先) 静岡市長

〒 420-8602

住所 静岡市葵区追手町5-1

申請者 名前 耐震太郎

電話 054-221-1124

補助金の交付を受けたいので、静岡市住宅・建築物等耐震化促進事業費補助金交付要綱第7条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

1	事業の区分	木造住宅耐震事業			
2	所有者	住所	静岡市葵区追手町5-1		
		氏名	耐震太郎		
3	住宅の概要	所在地	静岡市葵区追手町16-23		
		住居表示	静岡市葵区追手町5-1		
	用途	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建て ・ <input type="checkbox"/> 長屋 ・ <input type="checkbox"/> 共同住宅			
	構造・階数	木造 地上 2階建て			
	延べ面積	100.00 m ²			
	建築年次	昭和56年5月			
	4	耐震診断及び補強計画作成者	住所	静岡市清水区旭町6-8	
氏名			建築士郎	電話	054-354-2111
資格			(一級)建築士(大臣)登録 第0001号		
事務所名			(静岡県)知事登録 第0001号		
5	施工業者	住所	静岡市駿河区南八幡町10-40		
		名称	耐震建設		
6	事業に要する経費(税込み)	計画	〇〇〇,〇〇〇円	工事(概算)	△△△,△△△円
		合計	□□□.□□□円		
7	事業の期間(予定)	令和〇年〇〇月〇〇日から令和〇年〇〇月〇〇日まで 事業着手予定日から事業完了予定日を記入してください			
8	仕入れに係る消費税額の控除対象事業者	<input type="checkbox"/> 該当する ・ <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			
9	高齢者等世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する(高齢者) ・ <input type="checkbox"/> 該当しない			

地名地番を記入してください。

★初めての方
補助制度を初めて利用する耐震診断者の方は補強相談士等の資格証のコピーをご提出ください。既に利用した事がある方は不要です。

申請者が課税業者でない場合又は課税業者であっても仕入れに係る消費税額の控除対象でない場合は「該当しない」に✓を付けてください。

注：修正液、砂消し等不可。訂正する場合は、新しく書き直してください。

住宅・建築物等耐震化促進事業費補助金交付請求書

日付は記入しないでください⇒

年 月 日

(宛先) 静岡市長

申請者 氏名 耐震太郎
〒 420-8602
住所 静岡市葵区追手町5-1
電話 054-221-1238

静岡市住宅・建築物等耐震化促進事業費補助金交付要綱第14条の規定により、次のとおり補助金の交付を請求します。

記

1 請求金額

請求金額				十	万	千		百		十	円
	金額は記入しないでください										

2 振込先

振込先金融機関	金融機関名	金融機関名 葵 銀行 金庫 農協・漁協
	支店名	支店名 耐震改修 本店・支所 支店・出張所
	口座の種別	普通・当座（該当を○で囲む）
	口座番号	1234567
	フリガナ	タイシン タロウ
口座の名義人	耐震太郎	

店番号は記入しないでください。7桁です。

提出書類チェックリスト

木造住宅耐震事業（申請時）		
<input type="checkbox"/>	①補助金交付申請書（様式第1号その1）	<input type="checkbox"/> 日付は未記入か（受付時記入） <input type="checkbox"/> 鉄骨等が使用されていないか
<input type="checkbox"/>	②補強設計費の見積書の写し及び補強工事費の概算見積書の写し	<input type="checkbox"/> 宛名はフルネームで記載されているか <input type="checkbox"/> 見積書に実施設計、申請手数料が含まれていないか <input type="checkbox"/> 値引きが税抜き価格からされているか
<input type="checkbox"/>	③S56年5月31日以前に建築されたこと及び所有者の住所・氏名が確認できる書類の写し（固定資産税納税通知書及び課税明細書、建物の登記事項証明書等）	<input type="checkbox"/> 平面図に申請者名があるか
<input type="checkbox"/>	④住宅の平面図	<input type="checkbox"/> 平面図に建築士である旨の表示・記名があるか <input type="checkbox"/> 2階建ての場合、2階平面図があるか <input type="checkbox"/> 平面図に寸法線が記入されているか
<input type="checkbox"/>	⑦承諾書（申請者が所有者以外の場合）	<input type="checkbox"/> 日付、請求金額欄は未記入か
<input type="checkbox"/>	⑧補助金交付請求書（様式第8号）	<input type="checkbox"/> 口座番号欄に店番は記入されていないか <input type="checkbox"/> 口座名義人が申請者と異なる場合、委任状はあるか
<input type="checkbox"/>	⑨「わが家の専門家診断事業」を受けたものは、その報告書の写し	
<input type="checkbox"/>	⑩上記診断を受けていない場合は、現況耐震評点1.0未満が分かる診断書	

注：修正液、砂消し等不可。訂正には二重取り消し線と訂正印が必要です。

補強計画確認依頼書

日付は受付時に記入してください⇒ 年 月 日

(宛先) 静岡市長

交付決定通知書で確認してください。不明な場合には記入しないでください。

年 月 日付け 第 号により補助金の交付決定通知を受けた住宅・建築物等耐震化促進事業において工事に着手したいので、静岡市住宅・建築物等耐震化促進事業費補助金交付要綱第9条第1項の規定により、次のとおり関係書類を添えて報告します。

1	事業の区分	木造住宅耐震事業	
2	申請者	住所	静岡市葵区追手町5-1
		氏名	耐震太郎
3	住宅の概要	所在地	静岡市葵区追手町16-23
		住居表示	静岡市葵区追手町5-1
	用途	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建て ・ <input type="checkbox"/> 長屋 ・ <input type="checkbox"/> 共同住宅	
	構造・階数	木造 地上 2階建て	
	延べ面積	1階 50.00 m ² 2階 50.00 m ² 合計 100.00 m ²	
	建築年次	昭和56年5月	
	4	耐震診断及び補強計画作成者	住所
氏名			建築士郎
資格			(一級) 建築士 (大臣) 登録 第 0001 号 事務所名 (静岡 建築士事務所) (静岡県) 知事登録 第 0001 号 静岡県耐震診断補強相談士 登録 第 0001 号
電話			054-354-2111
5	工事施工業者	住所	静岡市駿河区南八幡町10-40
		名称	耐震建設
6	耐震評点 (Iw)	補強前 (1階)	X方向 0.12 Y方向 0.34
		補強後 (1階)	X方向 1.12 Y方向 1.34
7	補強計画の方針及び結果の概要	(例)・評点1.0以上となるように計画する。 ・洋室 4か所 台所 3か所 既存壁を補強した。 ・1階評点が X方向 0.12→1.12、Y方向 0.34→1.34 に上昇した。	
8	事業に要する経費 (税込み)	計画	〇〇〇, 〇〇〇円
		工事	△△△, △△△円
		合計	□□□. □□□ 円
9	工事の期間 (予定)	年 月 日 から 年 月 日まで	

地名地番を記入してください。

1階部分の評点を記入。

補強計画書より抜粋して記入してください。

事業着手予定日から事業完了予定日を記入してください

注：修正液、砂消し等不可。訂正する場合は書き直しが望ましいですが、難しい場合は二重線で訂正してください。

耐震診断結果報告書（補強計画策定時）

日付は受付時に記入してください⇒

年 月 日

(宛先) 静岡市長

〒 420-8602

住所 静岡市葵区追手町5-1

申請者 名前 耐震太郎

下記のとおり、補強計画策定時における耐震診断結果を報告します。

記

1 耐震診断結果（全階）

階	方向	上部構造評点※1	備考
1	X	0.69	現況の評点を挿入してください。
	Y	0.28	
2	X	0.73	
	Y	0.31	
	X		
	Y		

※1 上部構造評点の判定：1.5以上（倒壊しない）

1.0以上～1.5未満（一応倒壊しない）

0.7以上～1.0未満（倒壊する可能性がある）

0.7未満（倒壊する可能性が高い）

2 耐震診断結果を踏まえた耐震改修範囲に係る申請者の意向（選択）

（以下の①～③のうちどれか1つに○を記載）

【 】 ①1階のみを改修

【 】 ②全階を改修

【 】 ③その他（ ）

提出書類チェックリスト

木造住宅耐震事業（確認依頼時）		
<input type="checkbox"/>	①補強計画確認依頼書（様式第 10 号）	<input type="checkbox"/> 日付は未記入か（受付時記入）
<input type="checkbox"/>	②耐震補強工事費の見積書の写し	<input type="checkbox"/> 見積書に社印が押されているか
		<input type="checkbox"/> 宛名はフルネームで記載されているか
		<input type="checkbox"/> 見積書に申請手数料が含まれていないか
		<input type="checkbox"/> 値引きが税抜き価格からされているか
<input type="checkbox"/>	③耐震診断書（補強前）	<input type="checkbox"/> リフォーム費用が含まれていないか、合算して作成する場合は（値引き等を含め）項目を分ける
<input type="checkbox"/>	④補強計画書（補強後）	<input type="checkbox"/> 診断書に建築士である旨の表示・記名があるか
<input type="checkbox"/>	⑥補強計画前平面図及び補強計画平面図	<input type="checkbox"/> 接合仕様 I を使用する場合、N 値計算書等金物仕様を確認できる書類があるか
		<input type="checkbox"/> 平面図に建築士である旨の表示・記名及び押印があるか
		<input type="checkbox"/> 2 階建の場合、現況の 2 階平面図が添付されているか

注：修正液、砂消し等不可。訂正する場合は書き直しが望ましいですが、難しい場合は二重線で訂正してください。

様式第5号（第12条関係）

住宅・建築物等耐震化促進事業完了実績報告書

日付は受付時に記入してください⇒

年 月 日

(宛先) 静岡市長

〒 420-8602

住所 静岡市葵区追手町5-1

申請者 氏名 耐震太郎

電話 054-221-1238

交付決定通知書で確認してください。不明な場合には記入しないでください。

年 月 日付け 第 号により補助金の交付決定通知を受けた住宅・建築物等耐震化促進事業が完了したので、静岡市住宅・建築物等耐震化促進事業費補助金交付要綱第12条第1項の規定により、次のとおり関係書類を添えて報告します。

1 事業の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	木造住宅耐震事業 耐震性能の確認 当該木造住宅耐震事業は、補強計画に基づき適正に実施された補強工事であることを証します。 工事監理者等 氏名 建築 士郎
	<input type="checkbox"/>	施工者 安全 管太
	<input type="checkbox"/>	非木造住宅耐震診断事業 (□マンション)
	<input type="checkbox"/>	建築物耐震診断事業 □耐震改修促進法第14条第1号に規定する建築物 □要緊急安全確認大規模建築物
	<input type="checkbox"/>	建築物補強計画策定事業 □耐震改修促進法第14条第1号に規定する建築物 □マンション □要緊急安全確認大規模建築物 □要安全確認計画記載建築物
<input type="checkbox"/>	建築物耐震補強事業 □耐震改修促進法第14条第1号に規定する建築物 □マンション □要緊急安全確認大規模建築物 □要安全確認計画記載建築物	

チェックを入れてください。

	<p>耐震改修工事の完了の確認（建築士） 補強計画に基づいて施工されていることを確認しました。</p> <p>資格（ ）建築士（ ）登録第 号 氏名 会社名（ ）建築士事務所 （ ）知事登録第（ - ） 号</p>
	<p>要安全確認計画記載建築物除却事業</p>
	<p><input type="checkbox"/> 除却工事完了の確認 除却工事計画に基づき、施工されていることを確認しました。 施工者（会社名） 主任（監理）技術者 氏名</p>
	<p>ブロック塀等耐震化促進事業</p>
	<p><input type="checkbox"/> ブロック塀等撤去事業 <input type="checkbox"/> ブロック塀等改善事業 施工者</p>
2 事業完了年月日	令和〇 年 〇 月 〇〇 日

事業完了日より30日
以内に完了実績報告書
を提出してください。

提出書類チェックリスト

木造住宅耐震補強事業（完了時）		
<input type="checkbox"/>	①完了実績報告書（様式第5号その1）	<input type="checkbox"/> 日付は未記入か（受付時記入）
<input type="checkbox"/>	②契約書の写し又は領収書の写し	<input type="checkbox"/> 収入印紙があるか
		<input type="checkbox"/> 補強設計分、工事分の契約書の写し又は領収書の写しがあるか
		<input type="checkbox"/> 補強設計と工事が同一業者の場合は、但し書きにそれぞれの事業費の記載があるか
		<input type="checkbox"/> 宛名はフルネームで記載されているか
		<input type="checkbox"/> 領収書に但し書きがあるか
		<input type="checkbox"/> 計算書に訂正がある場合、見積書を提出
<input type="checkbox"/>	③施工中及び完了の写真（補強計画の内容がわかるもの）	<input type="checkbox"/> 撮影位置などが判断できる図面やコメントなどがあるか
		<input type="checkbox"/> 補強計画等の変更はないか ある場合は、診断書・図面・軽微な変更届の提出
		<input type="checkbox"/> 変更がある場合、診断書・平面図に建築士である旨の表示・記名があるか
		<input type="checkbox"/> 補強工事箇所全ての写真があるか（接合金物四隅、筋かい金物上下等）